

ウミネコ（カモメ科） 全長47センチ

ウミネコは主に海辺に生息する鳥で、内陸部では殆ど見かけることがありません。

春の農作業が始まる頃、大仙市内に集団で飛来していることはあまり知られていません。大型トラクターで代掻き作業が始まりました。大きな機械音を響かせているが、後を追うように白っぽい野鳥が飛び交っている。

ウミネコが約30羽。ほかにもアオサギやムクドリなどが遠巻きに眺めています。

トラクターは田んぼの土を細かくかき混ぜながら進んでいく。ウミネコは機械の後ろに降り、盛んに泥の中を啄ばんでいる。土の中に隠れていた、ミミズなどの昆虫などを食べているのでしょう。



トラクターを追いかけるようにウミネコが。

トラクターの作業跡は、楽しく餌にありつける絶好の場所です。

ウミネコは、日本海から約40キロも離れている大仙市になぜやって来たのでしょうか。海に近い秋田市にも田んぼがあるので、こんな遠くまで来なくてもいいのにとと思うが、その理由は分かりません。



トラクターを追い越すように飛び交う。



いい場所を目指して必死です。

やがてトラクターの作業が終わり、田んぼに元の静けさが戻りました。

あんなに賑やかだったウミネコはいつの間にか姿が見えませんが、もう海を目指して帰って行ったのでしょうか。



すぐ後ろは大賑わい。



食べつくすと、先回りして場所取りです。